

承認番号	16000AMZ01821
薬価収載	1985年7月
販売開始	1985年7月
再評価結果	1986年12月

カルシウム剤

リン酸水素カルシウム「エビス」

DIBASIC CALCIUM PHOSPHATE

日本薬局方 リン酸水素カルシウム水和物

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- 高カルシウム血症の患者
[症状を悪化させることがある。]
- 腎結石のある患者
[症状を悪化させることがある。]
- 重篤な腎不全のある患者
[カルシウム排泄低下により、高カルシウム血症があらわれるおそれがある。]

【組成・性状】

1. 組成

本品1g中 日局リン酸水素カルシウム水和物 1g 含有。

2. 性状

本品は白色の結晶性の粉末で、におい及び味はない。
本品は水、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
本品は希塩酸又は希硝酸に溶ける。

【効能・効果】

下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
くる病、骨粗鬆症、骨軟化症
妊娠・授乳時におけるカルシウム補給

【用法・用量】

リン酸水素カルシウム水和物として、通常成人1日3gを
3回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- 活性型ビタミンD製剤を服用している患者[高カルシウム血症があらわれやすい。]
- 強心配糖体の投与を受けている患者[強心配糖体の作用を増強するおそれがある。]
- 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者

2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。
また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質(ミノサイクリン、ドキシサイクリン、テトラサイクリン等)	これらの薬剤の効果が減弱するおそれがあるので、投与期間をできるだけあけるなど注意すること。	カルシウムがこれらの薬剤と難溶性のキレートを形成し、これらの薬剤の吸収を阻害すると考えられる。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

重大な副作用

高カルシウム血症・結石症
カルシウム剤の長期投与により、高カルシウム血症及び結石症があらわれることがあるので、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【薬効・薬理】

本薬は妊娠、授乳、骨カルシウム沈着減少時などカルシウムとリン酸塩の要求が増すときに、カルシウムとリン酸塩の補給源として一般に用いられる。胃腸から吸収される程度はグルコン酸又は乳酸塩に劣るといわれ、カルシウムのみが必要なときはグルコン酸カルシウムや乳酸カルシウムのほうがすぐれている。しかし、食物の強化としてカルシウム及びリン酸塩の双方が必要であるときには本薬が用いられる。食物中のカルシウムとリンの比は1~2:1が最も適当であるが、本薬におけるこの比は1.3:1である。

【有効成分に関する理化学的知見】

- 一般名: リン酸水素カルシウム水和物
(Dibasic Calcium Phosphate Hydrate)
- 分子式: $\text{CaHPO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$
- 分子量: 172.09